

どんな人にも平等に

成瀬中学校 二年生

有園 尚登

私は先日電車の一歩前の車両に乗っていた。その車両は席が半分くらい空いている。位の混み具合で、そこに視覚障がいの人がか^隣の車両から来ました。しかしその人は、目が見えていないので席が空いているかどうか分からず、ゆっくりと車両を移動してきています。す。き。とどこに座ればいいか分からず一番

前まで来てしまっただと思います。その時大学生くらいの男性がその人の所に行き、肩をたたき、この席が空いていますけど座りませんか？と聞き、近くの席に座らせました。それに対して私はその視覚障がいの人が席に座りたがっていることも分かっていた。したが、席に座るよう手助けすることではできませんでした。それには突然のことだったのでどうすればいいか全然分からず、結局何もできずに見ているだけになってしまいました。その

時私は手助けができた大学生はすごいと感じ
 ました。きっとその視覚障がいの方は席がど
 こに空いているかわからず、その大学生が声
 をかけてくれたおかげでとても助かったと思
 います。しかし今回あったように誰かの助け
 がないと視覚障がいの人が席にも座れないの
 はおかしいと私は思います。なので電車など
 の公共交通機関に視覚障がいの人も座れるよ
 うにしないといけないとその出来事で感じま
 した。

そこで私は最近たくさん設置され始めてい
 る防犯カメラを使い、どこに席が空いている
 かわかるシステムを作ればいいと思います。
 その方法とは、まず視覚障がい者は機器を持
 つていき、それを電車の中にある防犯カメラ
 と連携します。防犯カメラは視覚障がいの位
 置も空いている席も見えています。なので機
 器を持っていて人がゆっくり歩いて、空いて
 いる席の前にたどりついたり音を鳴らせばど
 こに席が開いているかわかると思います。し

かしこのままだと右側が空いているのか、左
 側が空いているのか分かりません。なので右
 側が空いていたら「ピッ」と一回ならし、左
 側のときは「ピッ」と二回ならせば左右の
 区別がつくと思います。しかしこの方法だと
 ひとっ欠点があります。それはどのあたりが
 空いているか分かってもし場所が分から
 ないので、結局周りの人の助けが必要になっ
 てしまいます。やはり最終的には、周りの人
 達が助けられるようにするのが一番いいと思

います。

しかし私のようにどのように手伝ってあげ
 ればいいのかわからないという人も多いと思
 います。そこで私は学校で障がい者について
 学ぶ必要があると思います。そして障がい者
 の人が困ったいたらどのような、また、どの
 ように手助けができるかを学びます。それに
 加えて例えば、視覚障がいの人になりきって
 目隠しをしながら行動してみたり、実際に車
 椅子に束縛したりして、自分が体験しながら学

んでいけばいいと思います。そうすること
 ようて、障がい者についてこの知識を増え、関
 心も高まると思います。そうすることによ
 て様々な障がいを持つている人たちの事も、
 たくさんの方が助けをあげられると思います。
 そして、当たり前のように困った人を助け合
 えるような社会になっ、ていい、たらいいと思
 いました。

私は先日のお出来事からどんな障がいを持っ
 ている人だとしても障がいを持つていない人
 と平等ではないといけないう強く感じました。
 そうするためには、私達かし、かりと障がい
 者のことを理解する必要があると思います。
 なのび私はいつかまた障がいを持つている人
 に出会った時には手助けができるように、本
 などで知識をつけます。そして次回は同じこ
 とが起ったとしても、冷静に対応してしっ
 かりと手助けができればいいと思いました。